

第15号

矢祭町 ゲストハウスプロジェクト 地域おこし協力隊による 活動報告と自己紹介を兼ねた フリーペーパーです

2021年10月15日発行



普段は週末の日中に開催しているので、夜の東館駅前は新鮮で、協力隊としても普段出会う方以外との交流を持つことができて楽しいイベントとなりました。お月見泥棒用にお菓子とぶどうの詰め合わせと飲み物を準備したところ、多くの方に喜んでもらえたようです。イベント開催が難しい状況が続きますが、試行錯誤で一步ずつ歩んでいきたいと思います。



地域おこし協力隊マガジン

矢祭町 ゲストハウスプロジェクト 地域おこし協力隊による 活動報告と自己紹介を兼ねた フリーペーパーです



ゲストハウスプロジェクトって？

地域おこし協力隊による、矢祭町の3つの地区「内川・東館・東山」でのゲストハウス立ち上げを目指しています。ゲストハウスと言えば、バックパッカーなどの旅行者が利用する安価な宿泊施設というイメージが強いかもしれません、近年、オーナーの思いが詰まった様々なゲストハウスが誕生しています。

わたしたちが目指すゲストハウスは「地域内外の交流拠点」。外から来るお客様はもちろん、地域のお年寄りから子供まで気軽に立ち寄れる場所であり、矢祭町の魅力を発信する場所であることをを目指しています。

地域おこし協力隊 ゲストハウスプロジェクト
矢祭町役場 事業課：0247-46-4576

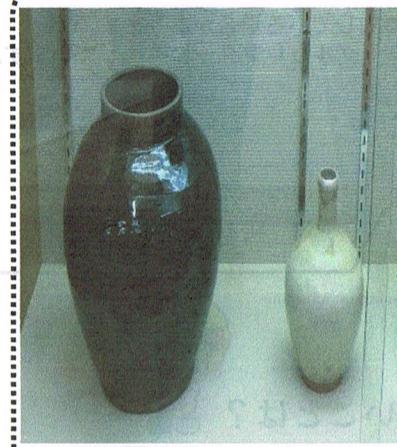


近藤ぶらり旅

HITO-TABI (いわき市)



協力隊同士の交流で訪れた、いわき市田人町にある古民家を改装したカフェ「HITO-TABI」。当時の田人町の地域おこし協力隊が、放課後に子供が過ごせる場所や住民が集える場所があったらしいのに、という声を聴き、2019年にコミュニティハウスとして地域の子ども預かりの活動を始めました。その約1か月後に古民家カフェ「HITO-TABI」もオープン。現在もカフェや子ども預かりはもちろん、レンタルスペース、カフェの一部で野菜や雑貨などの委託販売を行い、現在の協力隊の活動の場ともなっています。



改めて手元焼の形の美しさをご覧いただきます。先ず器物の造形は、「うつわ」という「うつろなるもの」を第一にした形であることです。内部の空虚な空間が命です。ここに何らかの力が漲つて外側の形を作ります。山があるのではなく、谷があると思つてください。空虚を受け留める谷が山を形づくっています。壺の中に天有りと中国では言われます。



「お前がお酒を呑んで酔っ払ったのが原因で、おまえの命が危険な目にあつた。」

影山のピックアップソング
今月はお休みです。先月までのピックアップソングを、コンテンツ配信プラットフォーム「note」に公開しましたので、ご覧ください。各コラムから直接その曲の動画をご覧いただけようになっています。



佐瀬 BOYの ぶどう 日誌



ぶどうもついに収穫の時を迎えました！

今年は粒の張りが良く立派なシャインマスカットができた
とのことで、お手伝いさせてもらった身としてはホッとし
ています。

このように立派な房になるまでには長い道のりがあり、ぶどうは花をつけてから品種にもよりますが、収穫まで90日120日以上かかります。

やってみてわかることが多いですが、ぶどうの栽培も例外ではなくとても手間のかかる仕事が多いです。

さらには、病気、害虫、ハクビシン等の害獣、頭を悩ます諸問題。また、どうしようもない天気の問題など、失敗が許されない状況下の中で作業に当たらなければなりません。

そして、120日近い日数を耐え抜いたあとにようやく立派な房となり収穫の喜びを感じられます。

この数か月で作物を育てる難しさを感じると同時に、すごくやりがいを感じましたし、自分が思った通りに作物をつくれた時の喜びはひとしおなんだろうなと感じました。

自分自身も増子君のぶどう園で手伝い始めてから1年以上がたち、ぶどう栽培のことでもおぼろげながらにわかることが増えてきました。

わかることが増えると自分の成長を感じられますが、それと同時に次のレベルに進むための高い壁が現れます。

そしてその壁を越えたら、また次の壁と...どんどん、どんどん続いていきます。頭を悩まることは多いですが、この歳になって本気でやりたいことと、自分

の成長を感じることに出会えたことに改めて感謝しています。これからは、就農に向けた現実的な問題と向き合うことになります。まだまだ

やることは多いですが、夢の実現に向けて確実に歩んでいきますので応援お願いします！

